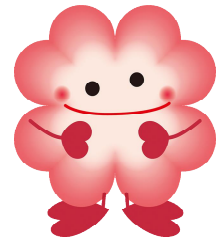


ふだんのくらしのしあわせ



福祉教育は、子どもだけでなく大人も含めたすべての人を対象に、学校や地域でのボランティア体験や交流などを通じて、「共に生きる力」を育む取り組みです。

子どもたちが身近な生活の中で福祉について考え、気づきや学びを深めていけるよう、先生方と一緒に内容を考え、地域の方々にも協力いただきながら福祉教育を進めていきたいと考えています。

なお、体験活動については、先生方を中心に実施していただく場合もございます。実施にあたっては体験の進め方や道具の貸出など、相談を受けながら授業づくりをサポートさせていただきます。

実施方法

①お申し込み

- ・福祉教育【体験学習】申込書をご記入のうえ、朝霞市社会福祉協議会（ボランティアセンター）へ FAX またはメールでお送りください。
 - ・申込後、担当より先生へお電話いたします。
- （※当日中にご連絡できない場合があります）

②内容の調整・打合せ

- ・授業内容や進め方について、事前に打合せを行います。

③借用願いの提出（必要な場合）

- ・資材・教材を使用する場合は、借用願をご提出ください。



【確認事項】

- ・先着順で日程の調整をいたしますので、早めのお申し込みをお願いします。
- ・※実施日の**1ヶ月前**までにご相談ください。
- ・講師への謝礼等、必要経費がかかる場合がございます。
- ・授業の組み立てから打合せを行なっていますので、ご相談ください。
- ・物品の運搬は学校にてお願いいたします。
- ・団体・企業等、学校以外での実施も可能ですので、ご相談ください。

福祉教育プログラムメニュー（概要）

事前学習	福祉について
内容	福祉について学ぶ事前学習として、社協の職員が「福祉」をテーマに、クイズやゲームを交えて分かりやすく説明します。
必要時間	45分×1コマ（学年全体対象）
会場	体育館もしくは生徒全員が入れる教室
講師	朝霞市社会福祉協議会 職員
その他	

No.1	アイマスク・ガイドヘルプ体験
内容	アイマスク体験をし、視覚の不自由な人の身になって考えたり、ガイドの役割について学びます。
必要時間	45分×1コマ（1クラス単位での実施）
会場	体育館もしくは教室・ろう下
講師	朝霞市社会福祉協議会 職員
その他	

No.2	車いす体験
内容	車いす体験をし、身体の不自由な人の身になって考えたり、使用方法について学びます。
必要時間	45分×1コマ（1クラス単位での実施）
会場	体育館もしくは学校内敷地、学校周辺
講師	朝霞市社会福祉協議会 職員
その他	

No.3	手話体験
内容	聴覚に障害がある方を講師に招き、聴覚障害についての講演、体験を通じて聴覚障害の理解を深めます。
必要時間	45分×1コマ（学年全体）
会場	体育館もしくは生徒全員が入れる教室
講師	朝霞市聴覚障害者協会
その他	謝金については要調整

No.4	当事者の講演・体験談（視覚障害について）
内容	当事者から障害についての苦労や努力、生活の工夫等の話を聞きます。講演を通して、障害のある人の理解を深めます。
必要時間	60分～70分 ※2コマ 3.4限目もしくは5.6限目（学年全体）
会場	体育館もしくは生徒全員が入れる教室
講師	視覚に障害のある方
その他	講演中のメモはとらないようお願いします。 謝金については要調整

No.5	高齢者疑似体験
内容	身体に重りやサポーターをつけることで、高齢者の身体状況の体験ができ、高齢者の理解を深めることができます。
必要時間	45分×1コマ（1クラス単位での実施）
会場	体育館もしくは教室
講師	朝霞市社会福祉協議会 職員
その他	対象学年は5年生以上。1～4年生は要相談。

No.6	発達障害について
内容	障がい児の発達保障及び障がい児・者の家庭の豊かな生活づくりのために活動するNPO法人の職員から話を聞きます。
必要時間	45分×1コマ（1クラス単位での実施可能）
会場	体育館もしくは生徒全員が入れる教室
講師	NPO法人 なかよしねっと 職員
その他	対象は中学生以上

朝霞市社会福祉協議会 朝霞市ボランティアセンター